

| 科目コード | 授業科目名 | 単位数・学期 | 受講年次 | 授業区分 | 担当教員名 |
|-------|----------|--------|------|------|-------|
| 90252 | 東洋芸術文化学Ⅱ | 2単位 後期 | 1・2 | 講義 | 森 達也 |

■テーマ 東洋工芸史の探求

■授業の概要

アジア各地の陶磁器の発展史を、地域ごと、時代ごとに詳説する。その背景となったアジアの歴史についても概説。また、陶磁器と関係の深い青銅器、漆器、ガラス器、玉器、金銀器など工芸全般についても触れる。文献や写真だけでなく、陶片などの実物資料も活用する。

■到達目標

- ・日本を始めとしたアジア各地（中国を除く）の陶磁の発展史の詳細を把握するとともに、工芸全般への理解を深めることを目的とする。
- ・陶磁史を通じてアジア工芸史全般を理解することにより、東洋美術史を理解するための基礎を身に着ける。
- ・実物資料を見る機会を設け、研究者として資料調査方法を身に着けることも目標とする。

■授業計画・方法

1. オリエンテーション、アジアの風土と歴史
 2. 日本 原始・古代
 3. 日本 中世(前期)
 4. 日本 中世(中期)
 5. 日本 中世(後期)
 6. 日本 桃山
 7. 日本 近世
 8. 日本 近・現代
 9. 日本 琉球陶磁
 10. 韓国 原始・古代
 11. 韓国 高麗時代
 12. 韓国 朝鮮時代
 13. 東南アジア
 14. 西アジア
 15. ヨーロッパ、授業総括
- ※ 定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

東洋史・日本史・西アジア史の概説書や陶磁史の概説書に目を通してもらいたい。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点40%、レポート60%で評価を行う。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学Ⅱ研究科（後期博士課程）の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 なし

□テキスト 資料は講義中にプリントを配布する。

□参考文献 講義中に紹介する。